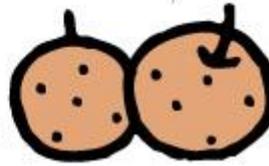
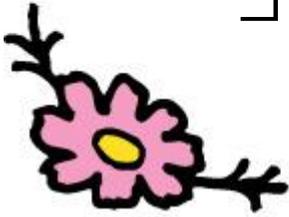




川崎市立南河原小学校

コーディネーターだより



まだまだ暑い日が続いていますが、夏休みは楽しくすごせましたでしょうか。学校にも、子どもたちの元気な声が戻って、活気にあふれています。

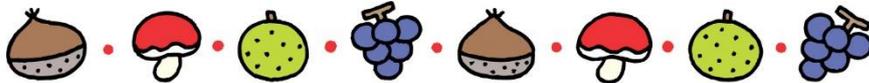
長期休み明けは、ご家族でゆっくり過ごしたあとなので、学校に行きたくないな、と思う子がいるかもしれません。そんな時は、学校にもご相談ください。どんな理由で行きたくないと思っているのか、一緒に考えたいと思います。

夏休み中に、学習用具も補充して頂いたと思いますが持ち物への記名も再度宜しくおねがいします。イニシャルで記入していただいてもかまいません。落とし物を減らすためにも、ご協力お願いいたします。



令和7年8月29日発行
川崎市立南河原小学校

支援教育コーディネーター
有川 六華



押された？ぶつかった？けられた？当たった？たたいた？呼んだ？

子ども同士のトラブルの話を聞いていると、双方の言い分がずれていることがあります。押されたと思う人と、当たっちゃった、と思う人。けられたと思う人と足が当たったと思う人。ねえねえと肩をたたいたつもりと思う子人と、たたかれたと思う人。受け取り方は人それぞれです。相手に真意を確かめずに行動に出ると、トラブルにつながります。言葉で確認できる心の余裕があるといいな、と思います。カーっとなってしまった時に、「フー」と一息深呼吸をしたり、その場を離れたりするなど、自分で気持ちのコントロールができる子どもたちを育てていきたいと思っています。

暑さ対策

朝、昇降口に立っていると登校するだけで汗だくな子どもたちがたくさんいます。冷やす道具も大切ですが、汗をそのままにするのも衛生上よくありません。ハンカチや汗拭きタオルを必ず持たせるようお願いします。

ことばづかい

最近、テレビやゲーム、SNSの情報があふれていて、普段家では使わないような言葉を使うこと、ありませんか？我が家にも小学生男児がいるのですが、「それどこでおぼえてきた？」という言葉を使うことがあります。

よくないと感じたら、その場で正すことが大事だと思っています。「その言葉を使うのは良い気持ちがしない」ということは伝え続けることが大切ではないでしょうか。長い時間を過ごすご家庭で、気持ちのよい言葉を使う習慣をぜひつけていただきたいと思います。